

2026年2月18日

【当院における過去の臨床データの研究目的での使用のお願い】

下関リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科 理学療法士 將基面恵介は、
研究課題目：「S1以下に両側性麻痺を呈した馬尾型腰部脊柱管狭窄症患者の歩行回復過程と特徴について」という臨床研究を行っております。

1. 研究対象期間と対象患者

令和6年4月1日から令和8年3月31日までの約2年間の期間で当院を退院した腰部脊柱管狭窄症患者さま

2. 研究目的・方法

目的：S1以下両側麻痺を呈した患者を対象に、入院リハビリテーション期間中のFIM運動項目スコアおよび歩行補助具使用状況の経時的変化を後方視的に調査し、機能的回復過程の特徴と課題を明らかにすること。

方法：この研究は、当院で過去に腰部脊柱管狭窄症で入院された患者さんの臨床データを集積し、評価します。

3. 研究に用いる臨床データ

電子カルテから、年齢、性別、主な既往歴、手術から当院転院までの日数、入院期間、下肢筋力、感覚障害、膀胱直腸障害、下肢痛の有無、FIM運動項目スコア、歩行能力（補助具使用および介助レベル）などの臨床データを使用します。

4. 研究実施期間

一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院院長の認可日～令和9年1月31日まで
（研究最終日）

5. 臨床研究実施についての倫理審査

この臨床研究は下関リハビリテーション病院倫理委員会で審査、承認され、病院長の認可を受けて行われるものです。

6. 新たな検査、費用の発生について

この臨床研究は過去における対象患者の臨床データを使用して行うものであり、新たな検査や費用は発生しません。また、データを使用させて頂いた患者さまへの謝礼等もございません。

7. 個人情報の保護について

使用する臨床データは、個人情報が特定されないよう匿名化を行い、厳重に取扱い、管理を行います。

8. 学会や科学専門誌などの発表について

この臨床研究の結果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合があります。その際にも氏名など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

9. 利益相反（一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為）について

この臨床研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて実施するものではなく、利益相反状態にはございません。

10. オプトアウト（臨床研究における患者個人の臨床データ使用の拒否）について

臨床データを使用することに同意をいただけない場合には、お手数ですが令和8年3月31日までに、下記の臨床研究についての問い合わせ先に、氏名、年齢、対象研究名をご連絡ください。なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはございません。ただし、既に学会発表、論文掲載などにより公表された内容については、削除できない場合があります。

今回の臨床研究は医療のさらなる発展に資するものです。
何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【この臨床研究についての問い合わせ先】

一般社団法人巨樹の会 下関リハビリテーション病院
研究責任者：リハビリテーション科 理学療法士 將基面 恵介
TEL：083-232-3205（総務）